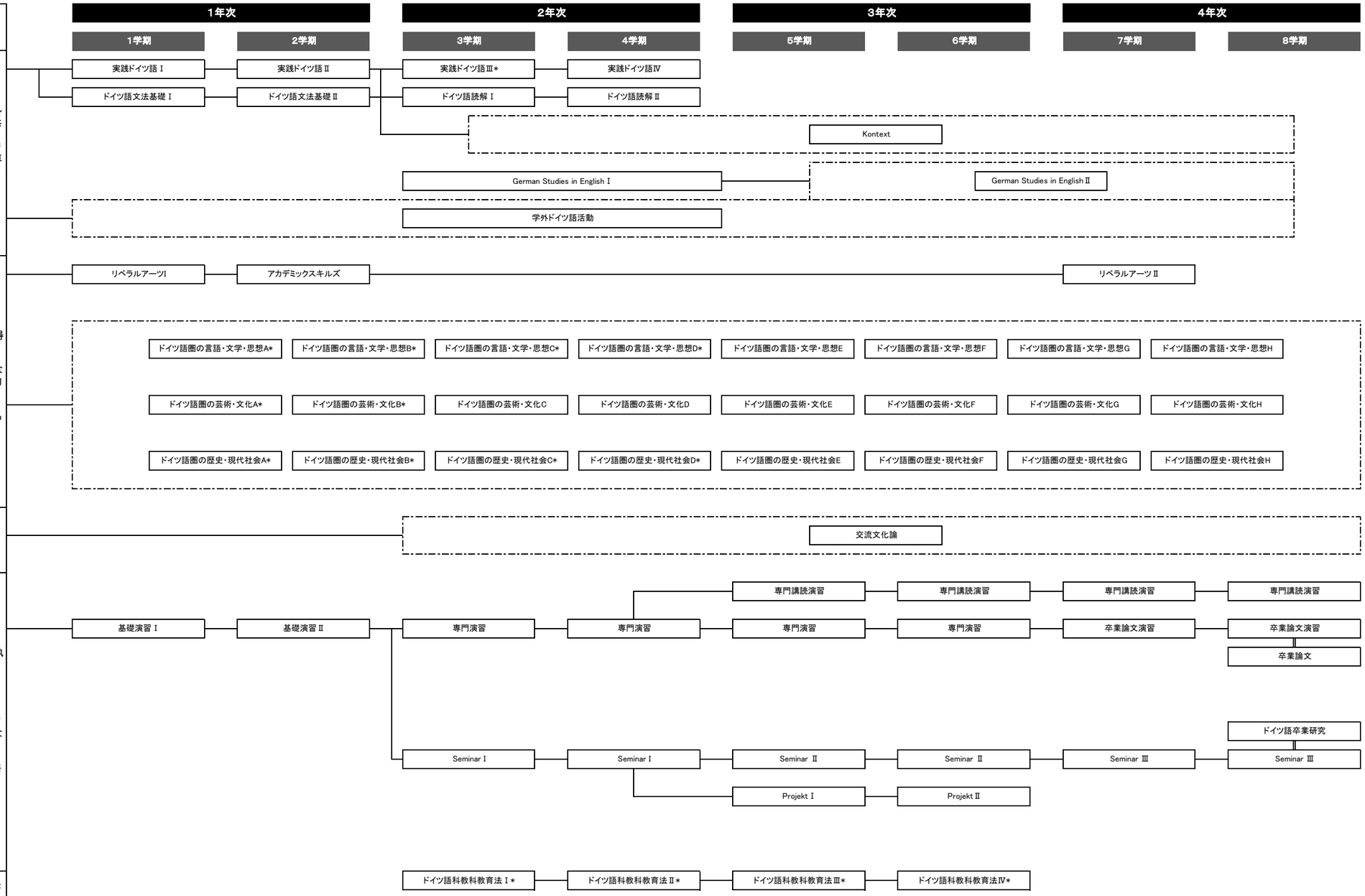
ドイツ語学科　履修系統図

科目群	部門	科目群・部門の学修・教育目標
外国語科目	初級ドイツ語 中級ドイツ語 学外ドイツ語 選択ドイツ語 英語 上級英語	初級の科目では、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4つの言語技能をバランスよく修得し、異なる文化圏でのコミュニケーションや情報収集ができるようになる。また、中級から上級の科目では、専門的なドイツ語や英語を使用してニュースや専門文献を読み解き、自分の見解をドイツ語や英語で発信する能力を修得することを教育目標とする。
リベラルアーツ科目	基礎教養科目 言語・文学・思想 芸術・文化 歴史・現代社会	特に講義科目を通じて異文化理解や専門知識を獲得し、ドイツ語圏の言語、文学、思想、芸術、文化、歴史、現代社会に関する幅広い知識を身につけ、独自の視点から問題を論理的に分析・議論できるようになる。また、異なる領域の知識を統合し、豊かな学際的な視野を持つことができるようになる。そして「リベラルアーツI, II」と「アカデミックスキルズ」では、説得力のある論文を執筆するための基礎的な力を修得することを教育目標とする。
	交流文化	交流文化に関する各種分野について特定の専門知識を修得し、分析し、自らの見解を提示できるようにすることを教育目標とする。
演習科目	基礎演習 ドイツ語課題演習 上級演習	演習科目全体では、研究発表、レポート作成、論文執筆、ディスカッション、グループワークを通じて、少人数での協働学習によりコミュニケーションスキルやチームワーク能力、情報リテラシーを養う。教員の指導のもと、全人的教養Bildungと論理的思考に基づき学習成果を自己の言葉で的確に表現するプレゼンテーション能力を獲得し、独自の研究課題を設定して研究を行い、その成果を効果的に伝達できるようになる。また、卒業論文演習やドイツ語卒業研究では、学生が自らの研究テーマを体系的にまとめ、独自の見解を論理的かつ独自の視点から発展させる能力を修得することを教育目標とする。
	卒業論文、ドイツ語卒業研究	
	ドイツ語卒業研究	
教職関連科目		教職免許「外国語（ドイツ語）」の取得に必要な教科の指導法を修得し、中学校・高等学校でのドイツ語教育を実践できるようにすることを教育目標とする。
外国語学部共通科目		外共の欄を参照
全学共通授業科目		全カリの欄を参照
		【備　考】 点線は枠内の学期期間にかけて履修する科目 *付の科目は、ドイツ語の教科及び教科の指導法に関する科目